

事業番号	事務事業名	チャイルドシート着用推進補助金	所管課名	保健福祉課	令和 2 年度課長名	水島 剛
01851	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	子育て支援係	担当者・シート作成者
	施策名	16	子育て支援の充実	根拠法令等	鏡野町チャイルドシート着用推進補助金交付要綱	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	チャイルドシートまたはジュニアシートを購入した乳幼児の保護者に対し、購入費の半額を(上限2万円)の費用を町が助成するもの(業務の手順)母子手帳交付時・転入時に説明と書類の交付。その後書類受付→審査→交付決定及び確定通知→振込。	平成12年4月からチャイルドシート着用が義務化されたことに伴い、交通事故から子どもたちの生命・身体を守るため、チャイルドシート着用の促進を図り、合わせて少子化対策及び子育て支援の一環として、チャイルドシート購入費に対し補助金を交付。(20年度より総務課より事務移譲)

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 鏡野町に住所のある乳幼児(6歳未満)及び保護者	ア 6歳未満の乳幼児数	人	見込 実績	690 715	700 690	700 652	700	700
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 交通事故から乳幼児の生命・身体を守ってもらう	ア 補助金交付件数	件	目標 実績 達成率	65 56 86.2%	65 63 96.9%	65 68 104.6%	65	65 104.6%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 制度の周知、申請受付、審査、入力、交付決定、確定通知、振込	ア 制度の周知回数	回	目標 実績 達成率	120 138 115.0%	120 113 94.2%	120 109 90.8%	120	120 90.8%
イ	イ 申請受付・審査件数	件	目標 実績 達成率	65 57 87.7%	65 63 96.9%	65 69 106.2%	65	65 106.2%
ウ	ウ 交付決定・振込件数	件	目標 実績 達成率	65 56 86.2%	65 63 96.9%	65 68 104.6%	65	65 104.6%

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01	款 03	項 02	目 01	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号					
	一般会計	民生費	児童福祉費	児童福祉総務費	07	07	チャイルドシート着用推進補助金	01851					
予算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町債							町債						
その他特財							その他特財						
一般財源	806	867	907	907	907	40	一般財源	731	865	874	907	907	9
合計	806	867	907	907	907	40	合計(A)	731	865	874	907	907	9
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1	1	
	延べ業務事務時間						106	106	106	106	106	106	
	人件費計(千円)(B)						358	371	354	355	355	355	-17
最終予算額		907 千円	予算執行率	96.3%	トータルコスト(A+B)		1,089	1,236	1,228	1,262	1,262	-8	
主な支出事業内容(予算)	補助金	900 千円					主な支出事業内容(決算)	補助金	868 千円				
	通信運搬費	7 千円						通信運搬費	6 千円				

事業番号	01851	事務事業名	チャイルドシート着用推進補助金	所管課名	保健福祉課
------	-------	-------	-----------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
本町のチャイルドシート購入費補助金交付件数は、開始時期に比べ増加している。対象者は以前から変わりはない。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
母子手帳交付時に個々に説明するとともに、転入時に6歳未満の乳幼児がいれば説明をしている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
購入方法が多岐にわたるため、インターネットでの購入による補助金申請の質問が増えた。 祖父母からの問い合わせ(孫へのプレゼントは対象になるか)の問い合わせもあった。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	保護者の経済的な負担を軽減することで、子育て支援に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	子育て支援の一環であり、チャイルドシートの着用認識が高まっている昨今、公費投入は妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	対象は限定されており、拡充等の余地はない。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	現状のとおり対象者を限定すれば、今以上の向上の余地はないものと思われる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	保護者の経済的な負担を軽減することにならない。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	改善余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	成果を下げずに事業費の削減はできない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	兼務で事務を行っており、人件費の削減余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	6歳未満の乳幼児は全員対象であるため、公平といえる。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	本事業について町民の方からの関心は高く、好評である。妊娠届時に制度の周知を行うことで、認知度が高く、チャイルドシート着用義務は広く浸透していると考えられる。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									

(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)